

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	公共交通運行事業	担当者	総務課	庶務係
-------	----------	-----	-----	-----

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	4. 自然と共生する、便利で安全・安心な村／生活環境の整備／公共交通			
関連する主な計画等	第2次南信州地域公共交通総合連携計画			
根拠法	道路運送法			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	全村民及び来訪者			
事業開始年	H13	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	交通手段に恵まれない皆さんの通学・通勤・通院等の「足」として利用してもらう。又、近隣市村との連携により、安価で便利な交通機関を維持継続する。																																																													
具体的取組	村内循環バス路線4系統、西部コミュニティーバス、広域バス駒場線を運行。村内巡回バス運行は、村内バス事業者に業務委託し運行。西部コミュニティーバスは、根羽村、平谷村と共同で、根羽村のバス事業者へ委託して運行。広域駒場線は、飯田市と共同で、飯田市のバス会社への補助金により運行する。																																																													
実績・効果	<p>【阿智村巡回バス】交通弱者の村民の移動手段として、通学、通院買い物等に貢献。</p> <p>【西部コミュニティーバス】西部3村の足として、村内や飯田市への通学・通院・買い物等に貢献。</p> <p>【広域バス駒場線】村民や来村者の交通手段として、通学、通院、買い物、観光等に貢献。</p> <p>利用者数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伍和・智里東線</td> <td>8,252</td> <td>8,416</td> <td>7,972</td> <td>7,036</td> <td>7,210</td> <td>6,213</td> </tr> <tr> <td>春日・智里西線</td> <td>6,175</td> <td>6,169</td> <td>5,580</td> <td>5,431</td> <td>5,920</td> <td>5,476</td> </tr> <tr> <td>清内路線</td> <td>7,345</td> <td>8,053</td> <td>7,992</td> <td>7,289</td> <td>7,911</td> <td>8,438</td> </tr> <tr> <td>浪合線</td> <td>1,746</td> <td>1,883</td> <td>2,241</td> <td>2,219</td> <td>2,101</td> <td>1,607</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,518</td> <td>24,521</td> <td>23,785</td> <td>21,975</td> <td>23,142</td> <td>21,734</td> </tr> <tr> <td>西部コミュ</td> <td>10,324</td> <td>10,096</td> <td>10,812</td> <td>12,843</td> <td>11,803</td> <td>12,875</td> </tr> <tr> <td>駒場線</td> <td></td> <td></td> <td>186,857</td> <td>192,774</td> <td>205,375</td> <td>228,467</td> </tr> </tbody> </table>						路線	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	伍和・智里東線	8,252	8,416	7,972	7,036	7,210	6,213	春日・智里西線	6,175	6,169	5,580	5,431	5,920	5,476	清内路線	7,345	8,053	7,992	7,289	7,911	8,438	浪合線	1,746	1,883	2,241	2,219	2,101	1,607	計	23,518	24,521	23,785	21,975	23,142	21,734	西部コミュ	10,324	10,096	10,812	12,843	11,803	12,875	駒場線			186,857	192,774	205,375	228,467
路線	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度																																																								
伍和・智里東線	8,252	8,416	7,972	7,036	7,210	6,213																																																								
春日・智里西線	6,175	6,169	5,580	5,431	5,920	5,476																																																								
清内路線	7,345	8,053	7,992	7,289	7,911	8,438																																																								
浪合線	1,746	1,883	2,241	2,219	2,101	1,607																																																								
計	23,518	24,521	23,785	21,975	23,142	21,734																																																								
西部コミュ	10,324	10,096	10,812	12,843	11,803	12,875																																																								
駒場線			186,857	192,774	205,375	228,467																																																								
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額																																																								
	巡回バス委託料	18,374	修繕料	2,856	燃料代	3,263																																																								
	駒場線補助金	1,639	西部バス負担金	6,702	協議会負担金	150																																																								
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																																								
	実績額 (千円)	33,742	35,307	32,984	43,700	33,000																																																								
	うち一般財源	24,203	27,232	28,577	39,293	27,722																																																								
	うち補助金	7,422	6,104	5,691	4,407	5,278																																																								
	うち個人負担																																																													
	従事職員 (人)	正規職員																																																												
	臨時職員																																																													

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	交通弱者の移動手段としてニーズは高い	A
	手段、成果は妥当か	a	安価な交通手段として妥当	
	対象者の設定は妥当か	a	全村民を対象としている	
	村の関与は妥当か	a	民間参加が無い村が行わざるを得ない	
有効性	期待された効果が得られたか		使いやすいダイヤに見直し、利用者の利便性が向上している	A
効率性	コストの削減に努めたか	b	バスの修理等必要最小限とした	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	老朽化しているバスの更新を検討	
公平性	受益者負担は適切か		運賃は村内100円、飯田市200円から500円を徴収	A
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	中学生、高校生の利用に配慮したダイヤの研究が求められている。時間帯や曜日により乗車数に偏りがあるため、最大時を想定した乗車定員のバスを運行しており、コストを考えたバス運行を検討する必要がある。
今後の取り組み	中高生を対象とした夜間送迎の試行を行う。交通弱者の移動手段を確保し、小型のバスで運行できる体制を検討する。利用促進のためラッピングデザインを公募する。